

走りと強気で勝ちにいけ!



ディフェンスをくぐり抜けレイアップでシュートを放つ

バスケットボール地区新人戦

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより148号
R1. 12. 12

僕たち男子バスケットボール部は地区新人戦で準優勝という結果を残しました。
1日目は、ディフェンスの完成が良くて、自分達のやりたいバスケットができました。
2日目は、一試合目の出だしが良かった。決勝戦も出だしが良くて、前半は(N中と)競うことができたけれど、ブロックアウトができずリバウンドも取れなくなり、足も止まってしまっていた。
2日目の反省として、ブロックアウトができていない。ゲーム中に声を出せていない。相手に体力負けている。下半身の筋力が足りていない。指示を受けても、指示どおりに動くことができない。などが挙げられる。だから、これらを今後の課題



として、練習からの下積みを徹底して取り組んでいきたい。
県新人戦に向けて、二日間の本大会で挙げられた反省点と課題をどう生かしていくかをチーム全体で話し合い、行動に移していきたい。初戦から勝ち進んでいきたい。
S・Sさん・K・Rさん



それからずっと車椅子です。
私が中国に住んでいた頃、おじと遊園地に行ったときの話しです。長年、中国を離れて、日本で仕事をしていた母が中国に帰郷したので、おじ、おば、従兄弟、祖父母、そして私と母で遊園地へ出掛けました。遊園地にあまり行かない私と従兄弟達はとてもワクワクしていました。おじもみんなと遊びに行くことは大好きなので、とても楽しみにしていました。
<つづく>



全国中学校人権作文コンテスト
沖縄県大会 奨励賞 地区優秀賞
三年 A・Aさん

障がいがあっても輝ける

皆さんは、障がいのある人を何にもできない人と思っていないでしょうか。それは、間違っています。私とその間違いに気づいたのはつい最近のことです。
私はこれまでに、テレビで車椅子の人がバスケットをしているのをよく目にしてきましたが、それでも、車椅子バスケットの選手以外の人は、やはり何もできないのではないかと思っていました。
私のおじは車椅子です。おじは、中学生の頃にタイヤを運ぶ父親の手伝いをするときに、タイヤで腰の末梢神経をやられ、足が動かなくなってしまうました。